

2015年8月
1085号

万葉

Manyo

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5

(一冊の会研究室)

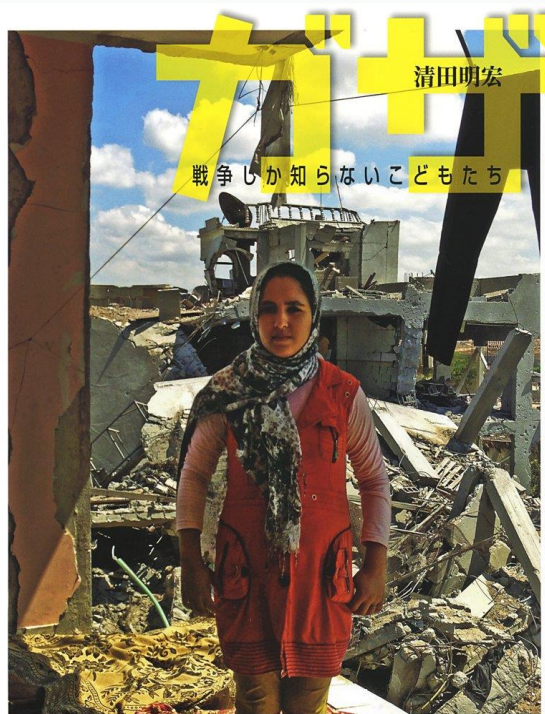
赤松良子先生の誕生日お祝いの会 若手メンバーの学びの報告 (その4) ～不戦の誓いを永遠に継承する連帯の輪～

赤松先生のお誕生日お祝いの会の様子は、万葉 1081 号でお伝えし致しました。先生の前で櫻華塾での学びを若手メンバーが発表いたしました、その内容をお伝えいたします。

櫻華塾グローリア部光 G の椎名節子です。一冊の会では輪読リレーを実践して 50 年になります。最近の実績を振り返ってみますと、「均等法」(赤松良子著)、「ひとすじの道」(中村道子国連ウィメン日本協会初代会長著)など。次々と大槻塾長から議題が出されます。先輩の皆さんは、しっかり勉強して発表。そして、10 人の友との友好を重ね、一つまた一つと着実に信用と教養を築いております。

しかし私は、いつも言われて読むだけの不勉強な状態ですが、赤松先生の前で発表する機会を頂き、今回初めて輪読の中心者になりました。『ガザ 戦争しか知らない子どもたち』の本です。そこで輪読目標を 100 名に設定し、現在 32 名まで読んで頂いています。ガザ地区はイスラエルとエジプトの国境にある地域です。本の中で、ガザの子ども達が、東日本大震災で被災した子どもの事を思って凧揚げをする様子が紹介されておりました。私は、ガザの子ども達は大変な境遇にあるのに、遠い日本の子ども達の事を思ってくれたことが、たいへん素晴らしいと思いました。そして、この話を伝え聞いた釜石の子ども達が、今度はガザの子ども達の事を思って凧揚げをした様子が本の中で紹介されておりました。

読後感を友人に聞くと「戦争って遠くに感じていたけれど、釜石の子ども達がガザの子ども達の事を思って凧揚げをしている話を聞いて、被災地・釜石の子ども達の方が私より立派だと思った。大抵自分の事で精一杯なのに、地球市民として感謝する、他を思いやる、皆さん人間として偉いと思った。あなたも忙しいのにこのような活動をしているのは偉いわね。



【ガザ 戦争しか知らない子どもたち】

これからも輪読の折には私も参加させてね。」と言われました。

今年は戦後 70 年・また被爆 70 年の節目の年です。私は戦争を知りません。平和が当たり前のような毎日です。私はこの本を読んで、世界では戦争しか知らない子ども達がいる事を知り、衝撃を受けました。日本が 70 年間平和を持続出来たことに、心から感謝の気持ちで胸一杯になりました。ガザでは 6 歳以上のこどもは皆、3 回以上戦争体験があります。心に傷を負いながらも、希望を持ち、明日を信じて生きているこどもの顔が脳裏に焼き付きました。

ガザの子ども達は自分も辛い現状なのに、東日本大震災で被災した子ども達に思いを寄せ、一緒に凧あげをしていました。この本を読み、私は東日本大震災の時、最初は胸を痛め、駆けずり回り支援物資をかき集めましたが、今では 4 年半前のことも忘れてしまっている自分に気付きました。



私たち青年の努めは、“戦争と原爆の教訓を未来につなぎ、縁する人と共に生きる喜びを持って「共生の絆」を強めていくことである。”と学びました。核兵器を使う人は「人間生命の元凶の魔性」であり、それに人類は絶対に負けてはならないのです。世界不戦の道は、どんなに遠く険しくとも、恐れず勇気と智慧で挑んでいくこと、対話が大切な事も学びました。不戦の誓いを永遠に継承する連帯の輪を拡げて参ります。まずは目の前の一人を大切に、今自分ができる平和への一歩を踏み出して参ります。

以上のように発表させて頂きました。松本泰子先生から、読書は心の栄養源とのお話がありました。また、元ガールスカウト事務局長の立場から、「平和に向けて人権教育が大事。特に選挙権が 18 歳以上に引き下げられたことで、中高生への教育が益々重要になります」とのお言葉を頂きました。また、赤松先生が会の最後にお疲れも見せず、「平和あつての平等」と力強く仰いました。平和の大切さを伝えていく使命を、今一度胸に刻みました。

皆さんご存知のように、一冊の会ではフェイスブックを立ち上げました。IT 部門を担当している太陽グループの皆さん(ライオンキンググループから太陽グループに昇格)が、真心を込めて忙しい中、事務所で配信されております。

フェイスブックには、一冊の会の最新情報を掲載しております。一冊の会のホームページの右上に F の印があります。そこからフェイスブックに飛びますので、是非ご覧ください！

担当者の苦勞に感謝の意を込めて、一冊の会に感想をお寄せください。

(メールでも FAX でも結構です。)お待ちしております！！

文責 グローリア部 椎名節子

※掲載記事、写真等の無断転載及び複写を禁止します。Copyright(C)2015 Issatsu no Kai. All Rights Reserved.